

2018年10月15日

凸版印刷株式会社

株式会社アイズ

伯東株式会社

凸版印刷、緊急速報を戸別に送受信

LTE通信を利用した緊急速報や自治体からのお知らせを音声や文字などで報知し、住民の受信状態を把握できる戸別送受信機「あんしんライト」を開発、同機を活用した見守りサービス「あんしんライトサービス」の提供を開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、ビジネスコンサルティングおよびシステムの企画・開発を手掛ける株式会社アイズ(本社:三重県伊勢市、代表取締役社長:川邊泰志、以下 アイズ)とエレクトロニクス関連の専門商社である伯東株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:杉本龍三郎、以下 伯東)の協力のもと、非常時の確実な情報提供とIoTを活用した自治体業務の効率化を実現するLTE通信を利用した戸別送受信機「あんしんライト™」を開発しました。凸版印刷は本製品を、地方自治体向けの住民見守りサービス「あんしんライトサービス」(以下 本サービス)として、2018年10月15日より販売を開始します。

本サービスは、総務省の平成30年度IoTサービス創出支援事業の1つに採択されたIoT×サテライト拠点による「生涯活躍」推進事業において、健康アドバイスの配信サービスとして2018年10月より活用されています。

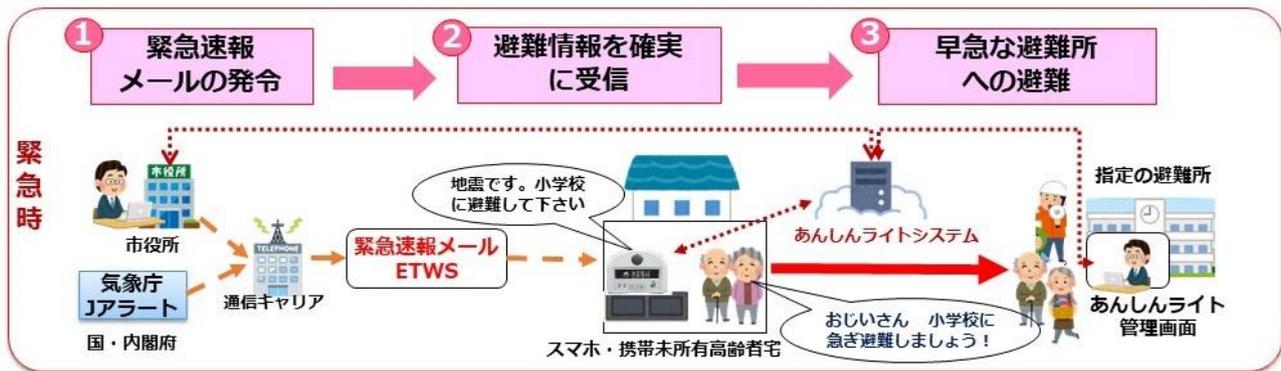
「あんしんライト」は自宅で机の上などに置いて電源を入れるだけで、緊急速報や自治体からの避難情報を自動で受信。LEDの発光・サイレン音・チャイム音の吹鳴や、ディスプレイへのテキスト表示、機械合成による音読の4つの方式で報知する、高齢者や障がい者にも使いやすい次世代型の戸別送受信機です。通信会社から発信される緊急速報を直接受信できるため、防災行政無線の補完装置として利用できるだけでなく、利用者の操作情報を送信する機能により、利用する住民が情報を受信確認したかの把握が可能という特長があります。

災害時の防災情報はもちろん、平常時には自治体からのイベントや催事のお知らせなどの情報の受発信も可能です。自宅に置いておくだけで災害情報を含む情報を受発信できるため、スマートフォンを持たない高齢者とのコミュニケーションの活性化はもちろん、見守り用途として提供することができます。

なお、本サービスは、2018年10月16日(火)から19日(金)まで開催される「CEATEC JAPAN2018」(会場:幕張メッセ)の凸版印刷ブース(小間番号:Hall4・5「IoTタウン」内)に展示します。



「あんしんライト」本体



「あんしんライト」を活用した「住民見守りサービス」の流れ(緊急時)

■ 開発の背景

近年頻発している台風や豪雨、地震などの自然災害時に、防災無線が聞こえず被災してしまう事例が増加しています。また、従来の防災行政無線は情報発信の機能のみであったため、自治体は地域住民へ確実に情報が伝わっているかが把握できないという課題もありました。これらの課題解決のため、自治体では各家庭に災害時の緊急情報を届ける仕組みや自治体業務の効率化が求められています。

凸版印刷はスマートフォンを持っていない高齢者などを対象に、LTE 通信を活用して災害時の緊急情報を音声と文字情報で自動に受信できる戸別送受信機「あんしんライト」を開発。緊急情報の発信と高齢者住民と自治体との双方向のコミュニケーションを支援するサービスを実現しました。

■ 本サービスの特長

・LTE 通信を活用し、情報の発信と受信の双方向の通信を実現

LTE 通信を活用することにより、従来の防災無線にはなかった双方向の通信を実現。自治体から情報を受信した住民が「あんしんライト」本体にある確認ボタンを押すことで自治体へ受信を知らせることが可能です。また、受発信情報は管理サーバである「あんしんライト」の管理システム上で一括管理できるため、情報を配信した自治体は緊急時の指定避難所などにおいても、住民へ確実に情報が伝達したかどうかを PC 上で確認することができます。

・受信情報を多機能でお知らせ

受信した情報を LED の発光、サイレン音やチャイム音の吹鳴、ディスプレイのテキスト表示、機械合成の音声の 4 つの方式で住民へ報知することで、非常時の緊急速報情報や平常時の自治体からの情報提供の見逃し防止に役立ちます。

・Bluetooth や LoRa(※1) 通信による IoT 機器との連携で機能拡張が可能

今後、Bluetooth や LoRa 通信の搭載も予定しており、他の IoT 機器と連携させることで、各種機器のセンシング情報を活用した多様なサービス提供が可能になります。これにより、子どもの登下校時の見守りや高齢者の生活状況の把握などの見守りサービスにも活用できます。

■ 「あんしんライト」の仕様

- ・サイズ: 縦 135mm × 横 176mm × 奥行き 62mm
- ・重さ: 約 430g

■ 価格

- ・本体費用: 約 2.5 万円/台(※ロット 5,000 台時)
- ・月額運用費用: 約 1,000 円/台(※通信・システム・保守費用含む)

※ 価格は仕様により異なります。

■ 今後の目標

凸版印刷は今後、本サービスを地方自治体に向けて拡販するほか、民間企業との連携も拡充し、2020年度に本サービスで約30億円の売上を目指します。

また、住民コミュニケーションの活性化やIoT連携機能による子どもや高齢者の見守り用途など、多様なサービスへと展開していく予定です。

※1 LoRa

低消費電力で遠距離通信を実現する通信方式であるLPWA(Low Power Wide Area)の一種です。

* 「あんしんライト」は凸版印刷株式会社、株式会社アイズ、伯東株式会社が3社共同で特許出願準備中です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上